



美濃加茂高等学校同窓会報

発行 美濃加茂高等学校同窓会 住所 〒505-0027 岐阜県美濃加茂市本郷町7丁目6-60 TEL. 0574-26-7181(代)
E-mail: mnkk96@minokamo.ed.jp URL: http://www.minokamo.ed.jp FAX. 0574-25-9048
印刷 (株)サラト 住所 〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町172 TEL. 079-284-1380
URL: http://www.salat.co.jp FAX. 079-284-0904

「型」あつての「型破り」 学校長 赤崎 耕二



同窓生の皆さん、こんにちは。日頃は、早川会長さんや先頭に会員の皆様には、いろいろな角度から学校を応援していただき、ありがとうございます。本校も今年度をもって、開校40年目となりました。そして、平成23年度卒業生を加えて、同窓生総数は14,589名となりました。卒業生や在校生の頑張りのおかげで、部活動や進学の方では県下でも指折りの実績を誇れるところまでできました。しかし、私学教育で最も重要なことは、「どのような理念の元にどのような生徒を育成するか」ということです。私は8年前校長を拝命して以来、創設者の「思い」が込められた「建学の精神」を拠り所として、この美濃加茂丸の舵取りをするよう心がけてきました。

ここ数年、年度ごとにスローガンを掲げて教育目標に取り組んでいます。本年度は「基本の徹底」としました。何事も基本が大切です。「行き詰まったら、基本に戻れ。」とよく言われます。本校にとって基本とは「建学の精神」であり、「校訓」そのものです。部活動、進路指導、生活指導を通して人間形成をするつもりが、目的と目標を取り違えてしまうことがよくあります。たとえば、部活動で勝利至上主義に走り、技術が一流でも、チームとしてあるいは人間として他から尊敬されず、受け入れられないことがあります。しかし、それは本校が目指す人間教育とは逸れていることになり、基本ができていないとは言えません。基本とは、言い換えれば「型」のことです。

先日、歌舞伎役者の市川亀治郎が3代目猿之助を襲名しました。猿之助といえば、2代目猿之助は「スーパーカブキ」と称して、伝統的な歌舞伎の世界に画期的な変革をもたらした話題になりました。梅原猛原作の「ヤマトタケル」はその代表的な作品ですが、当初そこに表した大胆な手法は、従来の歌舞伎からすると異端の誹りを免れないものだったようです。しかし徐々に、歌舞伎の基本を無視したものではなく、しっかりと伝統的な土台の上にできた作品だという評価を受け、今では歌舞伎の新たな形態として一人歩きしているようです。すなわち、「形なし」ではなく、「型破り」の創造的な世界を築いたと言えるでしょう。

本校の教育もかくありたいと望んでいます。あくまでも「建学の精神」と校訓「自主性、創造性、社会性」に則った人間教育を「基本」とし、「知、徳、体バランスのとれた健全な身体と精神をもつ生徒を育成すること、そして将来の社会に貢献できる人材を世に送り出すことを本校の使命であると考えています。引き続き地域に根ざし愛される学校づくりに邁進して参りますので、卒業生の皆さんのご支援をよろしくお願い致します。

40の礎・新たな未来 同窓会長 早川 港



本年私達の母校は、創立40周年を迎えることができました。心よりお祝い申し上げます。また会員の皆様におかれましては益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

法学博士、初代理事長であられた(故)渡邊鎮雄先生により昭和48年オイルショックの真っ只中、日本経済、生活環境が大変厳しい状況の中、愛美学園の美濃加茂校として「自主性、創造性、社会性」の建学の精神を教育方針として美濃加茂高校が誕生しました。

以来、歴代校長先生を含め諸先生、PTA、後援会、同窓会の方々のご指導ご支援、ご協力をいただき着実に成果を上げております。平成13年には中高一貫教育の中学校を開校、地域に根ざした中学校として高い評価を受けております。着々と発展し続ける姿は私の自慢であり、誇りでもあり、又、喜びでもあります。

さて、学習面、部活動面でも大きく飛躍し、東大、京大、名大を始め多くの国公立大や有名私大への合格を毎年果たされ、就職においてもこの不況下、100%に近い就職率を維持しているとのこと、そして本校が県下でも屈指の私立中学・高校として存在していることは誠に喜びと致す処であります。又、部活動でも全校生徒の80%以上が加入し、毎年着実に成果を出され、この度の「2012ぎふ清流国体」にも、バスケットボール男子、ゴルフ、陸上、ボート、ソフトボール男子がエントリーされ、岐阜県の天皇杯、皇后杯獲得に向け貢献していることを知り、卒業生として、岐阜県民として誠に喜ばしい限りです。

40年を経過しようとしている今、開校間もなく就任された先生が少なくなり、世代交代の時期を迎えようとしておりますが、この40年の歴史と伝統の建学の精神を継承し、時代に適した学校教育を進めていただきたいと思います。

最後に会員の皆さんの益々のご活躍をお祈り申し上げますと共に、今後とも母校への変わらぬご支援を賜りますことをお願い申し上げます、ご挨拶と致します。



平成24年3月末現在、
同窓生総数14,589名
(第37回卒業生まで)



平成24年度

4月21日	同窓会行事	同窓会役員会開催
6月	現役生活	3年生鬼頭桜さん(ゴルフ部) トルコアマチュアオープンゴルフ大会(トルコ共和国で開催)で、日本ナショナルチームメンバーとして活躍
6月16日	高等学校行事	サッカー講習会開催(場所:美濃加茂中学高等学校) 勝野正之氏(FC岐阜セカンドチームコーチ)
6月25日	同窓生活	服部真夕氏(平成18年卒)女子プロゴルファー アース・モンタミカップで優勝(通算4勝目)
7月	現役生活	1年生小森梨絵さん(ドリカムコース) 夏休みを利用して姉妹校ジェネシス・クリスチャン・カレッジへ短期訪問(約2ヶ月滞在)
7月	新校舎建設決定	
9月	国際交流	姉妹校ジェネシス・クリスチャン・カレッジからの短期留学生(生徒14名、先生3名)来校(9日間滞在)
9月	同窓会行事	同窓会報第3号発行
11月13日	学校行事	教育講演会開催(場所:美濃加茂中学高等学校) 中村文昭氏(クロフネカンパニー代表取締役)
11月17日	学校行事	プラス・バトン演技演奏会開催(場所:美濃加茂市ブラザージュたい)

ほっとニュース

※部活動戦績は6ページに記載

平成23年度

7月	同窓生活	土岐香織氏(平成19年卒)女子ゴルフ プロテスト合格
9月	同窓生活	服部真夕氏(平成18年卒)女子プロゴルファー マンシングウェア東海クラシックで優勝(通算3勝目)
9月	中学校行事	中学校生徒 東日本大震災被災地、宮城県石巻市立渡波(わたのは)中学校に手作りプリンター、バンジー 200本を贈呈
10月	同窓生活	大前暁子氏(平成5年卒)青年海外協力隊員 美濃加茂市長表敬訪問(セネガル共和国エイズ感染防止啓発活動)
11月	国際交流	姉妹校ジェネシス・クリスチャン・カレッジからの留学生エマ・リー・ジョイスさん来校(平成24年2月まで約3ヶ月滞在)
11月	同窓生活	同窓生 天池壮佑氏(平成22年卒)愛知学院大学硬式野球部3年 愛知大学野球で優勝・明治神宮大会出場報告のため来校
3月	進学実績	名古屋大学5名、大阪大学1名、岐阜大学11名、広島大学1名など国公立大学39名合格 南山大学36名、立命館大学21名、慶應義塾大学2名、早稲田大学1名、中央大学10名、同志社大学7名など私立大学352名合格
3月	現役生活	2年生赤土裕典君、2年生平佐田葵君(男子バスケットボール部) バスケットボール男子18歳以下日本代表に選出(第22回FIBAアジアU-18選手権(モンゴル)、第20回日韓中ジュニア交流競技会(韓国)に出場)
3月	教員生活	林龍幸先生(男子バスケットボール部監督) バスケットボール男子18歳以下日本代表チーム・ヘッドコーチ就任

速報

新校舎建設決定！！

詳細は次号でお知らせします。お楽しみに…

学校法人 美濃加茂学園
美濃加茂中学高等学校

施設紹介 (平成24年6月現在)



＜第3グラウンド 高校硬式野球場＞
中学校軟式野球部が使用することもあり、中学校の体育祭もここでを行います。



＜第2グラウンド＞
体育の授業、サッカー部、中学校軟式野球部などが利用します。



＜視聴覚室＞
大型スクリーンを完備し、衛星放送授業等に活用しています。



＜ゴルフ練習場＞
プロゴルファー服部真夕氏、宅島美香氏もここで練習を積みました。体育の授業（ゴルフ）も行います。



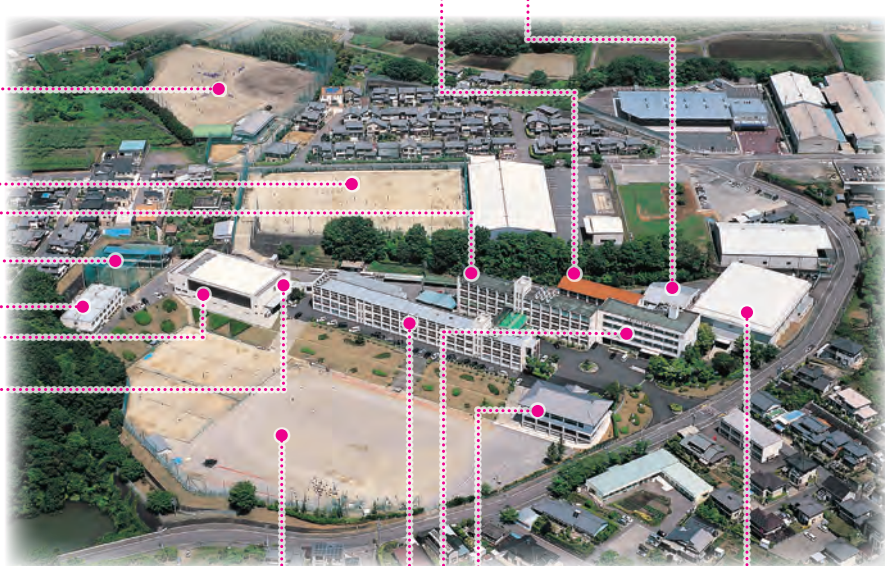
＜セミナーハウス（旧野球部寮）＞
学習・部活動合宿、オーストラリア姉妹校留学生宿泊、技術美術授業等に利用します。



＜第2体育館＞
開校当初はここで入学式、卒業式等を行いました。（平成18年に内装リニューアル）



＜中学校校舎外観＞
平成17年完成。中高一貫6年間教育の拠点です。全室にパソコン、大型テレビを完備しています。



＜第1グラウンド、テニスコート＞
体育祭、球技大会などのメイングラウンドです。毎年多くの感動・思い出が生まれます。



＜校舎外観＞
開校当初からあるメイン校舎です。校長室、職員室など思い出深い場所が揃っています。全教室冷暖房完備で、快適な環境で勉学に励めます。



＜体力トレーニング室＞
いつでも自由に利用可能で、各部活動が体力づくりに利用しています。



＜レストラン（食堂）＞
券売機を設置した食堂です。一般の方の利用も可能です。会議等にも利用します。



＜第1体育館＞
入学式、卒業式などの各種式典のメイン会場としても利用しています。



＜隆眞館（柔剣道場）＞
平成22年3月完成。高校・中学校の柔道の授業、剣道部、講演会などで利用します。



＜正門入口外観＞
平成16年中学校が開校してからは校舎に“美濃加茂中学高等学校”と文字が入りました。

■ 名物先生紹介

昭和五十年学校章創期から勤務され、今年で三十八年目を迎えられる和多田徹先生を紹介いたします。

平成二十二年三月には三十余年にわたる私学振興への努力が讃えられ、文部科学大臣賞を授けられました。教育に情熱を注ぐ傍ら、趣味の登山歴も約二十年と公私に渡り充実した日々をお過ごしのと多田先生。今回は、いつもと少し違った視点で、趣味の登山について語っていただきました。



「私と山」 和多田 徹

私の故郷、福井県の三方には三十三間山(八百四十二メートル)という山があります。そこへ登ると、三方五湖はもろろんのこと、日本海、天気の良い日は琵琶湖まで見えます。山名は、この山から木を切り出し、京都の三十三間堂を

■ 恩師からのメッセージ

「部活動に没頭した三十八年間」

櫻井 和男



三十八年間部活動一筋で生徒諸君と接してきました。陸上部を五年、野球部を十四年、ゴルフ部を十九年と、たくさんのお教え子たちに恵まれ、数多くの思い出を残させていただきました。

陸上部では、東海総体に三品道哉が走り高跳びで出場、野球部では昭和五十五年と平成二年に甲子園出場と、野球に縁のない私が野球部長として同行させてもらったことは大変な喜びであったと同時に、学校や部員への感謝の気持ちでいっぱいでした。平成六年からはゴルフ部を担当し、野球で経験したような大舞台でゴルフ部員たちも活躍させたい思いで取り組んできました。男子団体は十一回、女子団体は七回の全国大会

第72回 全国高等学校野球選手権大会1990



第72回 全国高等学校野球選手権大会1990

建てたとされることにより、ここが、私と山との出会いの場所です。

私は大学入学当時、父から山だけはやらぬようにと約束せられました。兄が山岳部に入り、親に大変心配をかけていたからです。しかし、四十歳を過ぎた頃から先輩に誘われ山に登るようになりました。今まで

に登った山は富士山を始め、山形の月山や秋田の鳥海山。白馬岳から新潟県の親不知までの三泊四日の縦走登山や北海道のトムラウシ山行、屋久島の宮之浦岳などの山々です。どの山も本当に素晴らしい思い出になっています。写真は剣岳の山頂での写真です。

早いもので、本校に勤務し三十八年目を迎え、定年の年となりました。今日まで職務に、趣味に頑張ってきたのも、卒業生の方や職員の皆様と家族に支えられたおかげだと感謝しています。



出場、個人においては、宅島美香・服部真夕・土岐香織が女子プロ、奥村圭介、三品貴泰が男子プロになってくれました。今もプロを目指すたくさんのお教え子がいいます。一層の活躍を期待しています。

「部活動を通じての奉仕活動」

高橋 憲子



美濃加茂での三十八年間の中で部活動(バスケット)を通して奉仕活動の大切さを知ることが数多くありました。その一つが昭和五十二年に表彰を受けた「小さな親切運動」です。この時には、周囲の人々の心の温かさや、生徒たちの協力し合う気持ちに本当に感動しました。また、平成九年からは各クラス別、各部活動で輪が広がり、全校ボランティアという形で保護者の方々の支援も受けて、学校全体が盛り上がりました。現在も各部活動で奉仕活動を行っているところがたくさんありますが、このような生徒の姿は私の教員生活の中でいつまでも心に残っています。そしてきつと将来「生きる力」につながっていると信じています。

最後になりましたが、ここまで教員生活を続けられたのは、先生方や生徒たちのおかげだと感謝しております。今後の美濃加茂学園の益々の発展を心よりお祈り申し上げます。

～和多田徹先生、櫻井和男先生、高橋憲子先生の三名を迎えて～

恩師との対談

卒業生 高橋のっ!!



インタビュー
平成15年卒
現美濃加茂中学校教諭
高橋 陽一

高橋陽 今回の同窓会報発行にあたりまして、3名の先生方にお越しいただきました。私は昭和59年生まれですので、3名とも私が生まれる約10年前から美濃加茂高校で教壇に立たれていました。

高橋憲 はい、私は昭和49年から美濃加茂高校で38年間、保健体育の教員として教壇に立たせてもらいました。

櫻井 私は昭和50年から本校で保健体育科の教員として勤めてきました。今年度で38年目です。

和多田 私も櫻井先生と同じく昭和50年からです。理科の教員として、38年目を迎えています。

高橋陽 私はまだ5年目です。改めて大先輩方に恐縮しております。先生方のその長い教員生活の中で感じる美濃加茂の変化をお聞かせ下さい。

高橋憲 今の生徒は昔に比べると、先生の言うことを素直に受け止めるようになったと思います。逆にパワーみたいなものは昔の方があったかもしれません。あと、年々学習意欲の高まりを感じています。

和多田 それは私も同じことを感じています。

このことが、毎年、国公立大学や有名私立大学に多数合格するというすばらしい結果につながっています。

櫻井 生徒の変化もそうですが、年々施設が充実してきました。今の生徒は幸せです。感謝の気持ちを持って日々の学校生活を送ることが同窓生への恩返しになるでしょう。

高橋陽 ありがとうございます。では、続いての質問です。学校はすばらしい「出会い」の場であると思います。先生方の「出会い」を教えてください。

高橋憲 39年目になりますが、毎年が、毎日がすばらしい出会いの連続です。一言では語り切れないほどの出会いがあったというのが本音です。

和多田 そうですね。14,000名を数える卒業生と、今の在校生、また多くの先生方とのすばらしい出会いがあったからこそ、38年間頑張ってきたのだと思います。特に職員では、故布施義郎先生には、大学の後輩ということもあり、公私共に大変お世話になりました。

櫻井 私は水野一美校長先生です。「担任ができないなら言ってこい。いつでも代えてやる」などと厳しい言葉もいただき、負けてなるものか、と頑張ってきました。ちなみに水野先生は私の仲人でもあります。

高橋陽 それは存じ上げませんでした。先生方

のお話を拝聴していると「歴史」を感じます。「歴史」というと校舎も、開校当時と比べて、随分と変わってきたかと思います。最後に先生方の「校舎」との思い出をお願いします。

櫻井 現就職指導室が赴任当時は宿直室でした。大晦日から元旦にかけて宿直したのが懐かしい思い出です。また、昭和55年から今はセミナーハウスである元野球部寮に舎監として週に3回くらい部員と共に生活しました。大変でしたが、これもいい思い出です。

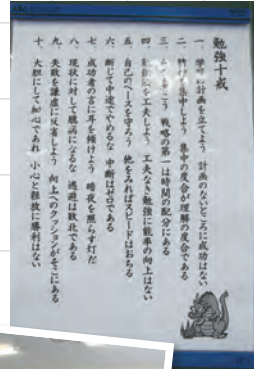
和多田 私の思い出の場所は校舎南側土手。ここは私のスタートの地です。昭和50年春、まだ体育館は完成していませんでした。全校生徒がグラウンドに集合し、新任の先生が土手に整列し、故篠田先生により紹介されました。

高橋憲 私も同じような場所です。昭和49年の4月、最初に体育の授業を行ったのが、現在の第2体育館辺りです。現在の第2体育館が完成するまでの2年間、バスケットやバレーの授業や部活動は外で行っていました。始まる前に小石拾いをし、コートを整備し、雨で水溜りができた時は、雑巾で水を取り…。大変苦労して授業を行った思い出があります。

高橋陽 先生方のご尽力が今の美濃加茂を作ってきたのです。先生方、貴重なお話をありがとうございました！

進学5年間の軌跡

基本の徹底～行き詰まったら基本に戻れ～



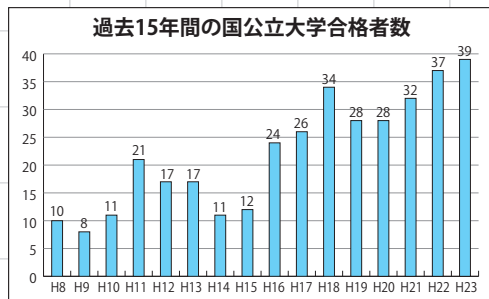
平成23年度(昨年度)名古屋大学・京都大学現役合格をはじめ、地元岐阜大学に15名の合格者を輩出した半数が教育学部。さらに40名まであと一步のところまで追ったのである。

平成23年度(昨年度)名古屋大学5名、岐阜大学2年連続2ケタ。40名まであと1名のところまで躍進。5年間で10名以上の合格者を増やすことに成功したのである。

以上のような右肩上がりの躍進には生徒の努力はもちろんのこと、学校全体の教育活動や教員の指導力向上も見逃せない。進特講座(土曜講座)、特編授業(3年生自由登校時の授業、卒業式後の3月)

＜23年度進路状況 卒業生 310名＞

進学	就職	その他
4年制大学 (短期大学部)	専門学校	
53.5%	7.1%	18.4%
	17.7%	3.2%



進路指導部長 船戸 宙治

ここ5年間で本校の進学実績は大きく変わった。別表を見れば一目瞭然であるが、平成17年度までの国公立合格者数は20名中盤であったが、平成19年度(名古屋大学3名、平成20年度(岐阜大学8名)と30名まであと少しのところまで追った。

平成21年度、平成18年度以来の30名の大会をクリアし、さらに、名古屋大学(旧帝大)5名と躍進した(県下でも名古屋大学5名以上合格は10数校しかない)。

そのために我々教員の指導力向上は必要不可欠であり、生徒と共に本年度の教育目標である「基本の徹底(行き詰まったら基本に戻れ)」を合言葉に全力で取り組んでいきたい。

まだまだ、発展途上ではあるが、これまでのドリカム(中高一貫コース)・蛍雪コースの実績に留まらず、アドバンスコースをはじめ他コースへとその裾野を広げ、更なる発展を遂げたいと考えている。

進学指導 5年間の軌跡

過去5年間の主な合格大学 (4年制大学)

大学名	H19	H20	H21	H22	H23
国公立大学					
東北大学			1		
筑波大学			1		
埼玉大学		1	1		
東京大学				1	
東京学芸大学				1	
富山大学			3	2	
金沢大学				1	
岐阜大学	5	8	2	15	11
静岡大学	1		2		1
愛知教育大学		2			2
名古屋大学	3	1	5	3	5
名古屋工業大学	1	1			
三重大学			1	3	
滋賀大学					1
京都大学				1	
大阪大学					1
和歌山大学		1			
神戸大学					1
島根大学				1	
岡山大学		1			
広島大学				1	1
愛媛大学				1	
高知大学			1		
鹿屋体育大学					1
高崎経済大学	2	1		2	2
首都大学東京	2		1		1
岐阜薬科大学		2	1		
愛知県立大学	1	1	2		1
名古屋市立大学	1	2	3		
その他の国公立大学	12	7	8	5	11
国公立大学合計	28	28	32	37	39

私立大学					
早稲田大学	3	1	1	3	1
慶應義塾大学	1			3	2
上智大学	1		3		
青山学院大学	2	2	1	1	4
中央大学	4	1	4	7	10
法政大学	6	3	5	4	5
明治大学	6	3	6	2	8
立教大学			2	2	5
南山大学	31	15	27	31	36
同志社大学	5	2	6	8	7
立命館大学	14	8	8	15	21
関西大学	8	2	2	6	4
関西学院大学	6	2	1	7	9
その他の私立大学	276	262	255	259	240
私立大学合計	363	301	321	348	352

祝 昨年の現役入学者(東京大学入学 高木祐希くん・京都大学 白木直人くん)に続き、今年も数ある有名大学現役入学者の中から下記お2人を紹介します



渡辺 祥くん
蛍雪コース卒業
大阪大学 工学部入学
(主な合格校) 慶應義塾大学・東京理科大学・同志社大学・立命館大学・関西学院大学



天池 一憲くん
蛍雪コース卒業
名古屋大学 理学部入学
(主な合格校) 東京理科大学・明治大学・立命館大学



高校時代は自分の将来を左右する大切な期間

高校生活は青春を思いっきり楽しむ期間であると同時に、自分の将来を左右する大切な期間であると思います。美濃加茂高校では恵まれた環境、優秀な先生方、レベルの高い部活動を通して、僕は大きく成長する事ができました。勉強でも部活動でも自分のやりたい事が思う存分出来る美濃加茂高校で、自分の夢を見つけ、その目標に向かって一生懸命頑張る事で将来の可能性を広げて欲しいと思います。

今日を大事にし、小さな成果を積み重ねること

高校3年間を終えて心に残っている教は「入試の前日も今日も同じ一日」です。私は在学中、どの大学に入りたい、センター試験では何%取りたい、といった目標だけを掲げていましたが、それだけでは何も変わらないことを学びました。毎日受ける小テストや課題に取り組むことで今日を大事にし、小さな成果を積み重ねることだけ考え、一日一日を過ごしていました。私が大きな目標を達成できたのは、それを教えて下さった美濃加茂高校の先生方のおかげです。

バスケットの国際舞台で羽ばたけ

今夏開催されるバスケットボール男子18歳以下の国際大会に、美加茂高次郎（美加茂北高校）と平田英選手（17）の2人が、日本代表として初めて出場することを内定した。代表チームのヘッドコーチを務めて任される林智幸監督（43）は「やる気満々の若手選手が数人揃ったのは喜ばしい。海外でのプレー経験は戦力に還元するため、全力で向かわせたい」と期待を込めた。

【古家政博】

美濃加茂高2人
U-18日本代表



アジア選手権など出場へ

赤土選手「勝ちにこだわる」 平佐田選手「多く吸収したい」

[illegible]

 ぎふ清流国体 期待の星



3度目の出場、集大成へ

ゴルフ女子 鬼頭桜選手

17歳に2つて今更に出場した度の国体は、消
化不良「二度目の20
10年千葉国体」3位と
追い上げムで迎えた
最終日、岐阜選抜は悪天
候に逆転優勝を掴まれ
「す、ききしない決
着、あの時の借りを絶対
に返したい」
日本女子プロツアーに
早で最終年（高松）3年
間でも多く飛躍した「シ
ーズン最終の大会、岐阜
選手たちの大活躍、意気
込む、

美濃加茂高校ゴルフ部の櫻井和男顧問は「チームきふの実力的な柱、精神的な支えとなつてほしい」と期待する。

◇

1995年名古屋生まれ。守山北中学校から美濃加茂高校へ。昨年の日本女子アマでは8強進出を果たした。162センチ

2名U-18日本代表入り!!
さらに林龍幸先生も日本代表コーチに!!

プロゴルファーを目指して!!

堀江
(美濃加茂)
準
V

一般・高校男子棒 1年生、大健闘
男子棒高跳び

高島は「自己ベスト」を
更新した。平（美濃）
は40分46秒、たけし
は45分57秒で、たけ
しは5分遅く、平は5
分早く走った。平は
出陣後9位だった上野
から境界に入った直
に、多田が追いついて
力のある者がいかに
多いかを痛感していた。
身近で素晴らしい人
材にめぐり合っている
目標に向かっていく
道を高めたいきたい
と、謙虚さの中に、奮
闘の意欲をしめした。

最初の4分30秒を目
で成功させた好調さを感じ
た。助走で踏み切り



一般・高校男子棒高跳び決勝で4.70へと
挑戦する堀江勇輝

の成果が見え始めた」と力を込める。

ぎふ清流国体での“優勝”に期待!!

大西（美濃加茂）女子3位



たそのほか女子では、夏まで心算していた算盤が保てなくなったとし、全国で勝つためには、という場面で強さが必

パット好調

を武器にとこまで勝負で
やるか試したい」と意気
込んだ。

先輩に続け!!

平成23年度 部活動戦績 ～全国大会出場部活動～

陸上競技部

全国高等学校総合体育大会	走幅跳 8 位	渡辺祥 (走幅跳・三段跳)
	出 場	堀江功輝 (110H・400H)
国民体育大会	出 場	渡辺祥 (走幅跳・三段跳)
日本ジュニア陸上競技選手権大会	出 場	堀江功輝 (110H)
日本ユース陸上競技選手権大会	出 場	杉山昇 (110H)
日本ジュニア室内陸上競技大阪大会	出 場	堀江功輝・杉山昇 (60H)

ゴルフ部

日本女子アマチュアゴルフ選手権競技		鬼頭桜 8 位 奥田穂子 103 位
全国高等学校ゴルフ選手権団体の部		男子 23 位 女子 9 位
全国高等学校ゴルフ選手権個人の部		鬼頭桜 7 位 大西里沙 79 位 光田智輝 61 位 川口徳啓 143 位
日本ジュニアゴルフ選手権		鬼頭桜 3 位 光田智輝 48 位 川口徳啓 54 位
日本女子オープンゴルフ選手権		鬼頭桜 43 位
国民体育大会		男 22 位 女 29 位
全日本大学、高校ゴルフ対抗戦		光田智輝 19 位
全国高等学校ゴルフ選手権春季大会		大西里沙 3 位 鬼頭桜 8 位 峠美優 41 位 田中成美 63 位

男子バスケットボール部

全国高等学校総合体育大会	2回戦	
--------------	-----	--

ブラスバンド部

マーチングバンド・バトントワリング全国大会	銀 賞	
-----------------------	-----	--

書道部

ふれあい書道展（広島）	特 選	井戸唯華
	特 選	渡邊美佳

全国大会、今度こそ
“金賞”だつ!!



美濃加茂15回劇勝

[illegible]

3 回目の夏の甲子園出場を目指して //

ゴルフ部

プロゴルファーを輩出するまでになったゴルフ部

ゴルフ部を担当して

ゴルフ部顧問 櫻井 和男

平成六年四月、当時の教頭の武藤先生よりゴルフ部の顧問をしてほしいとの話があり、ゴルフの経験・知識の全くない私には無理だとお伝えをしましたが、体育人として陸上部、野球部の顧問をし、何かスポーツ系の顧問をしなければとお受け致しました。当時の部員は十四人くらいでした。私が持つ前に渡辺先生が顧問をされておりました。

平成七年に現在プロゴルファーの奥村圭介君が入学し、平成八年度の全国高等学校ゴルフ選手権春季大会に出場をしてくれました。学校近くの賑済寺ゴルフ場がラウンド練習の拠点として提供いただきました。学校にも立派な練習場を作っていたので平日は学校で打球練習、土・日曜日はコースでラウンド練習をしていました。

平成十年に団体戦で初めて男子が全国大会に出場することができました。ゴルフは個人競技ですが、三人のスコアをトータルして競うのが団体戦です。中部地区六県の参加で四位以内に入らないと出場権が獲得できません。続木達也君・板津圭介君・堀浩恭君・堀一博君・平澤啓介君の五人で中部地区二位で出場することができました。すごく嬉しかったことを思い出します。朝、四時過ぎにゴルフ場へ行き、お客さんがスタートする前にラウンドしたことがつい最近のように思い出されます。その後、男子は十二回の全国大会に出場をしています。

個人においても三品貴泰君・山口量君・須田将太君・後藤悠斗君らが全国大会で活躍をしてくれました。

女子は現在プロゴルファーの宅島美香さんが平成十四年に、十五年には服部真夕さんが、十六年に土岐香織さんがそれぞれ入学をしてくれました。中学時代から全国で入賞していた選手が来てくれたことが夢のようでした。私にゴルフの指導力がないので、ゴルフ環境や彼女たちに思う存分ゴルフに打ち込めるようサポートしてきました。

女子の団体は七回の全国大会に出場していますが、彼女たちのときは全国四位でした。

その後の女子部員には島津想美さん、夫馬菜月さん、須田みのりさん、鬼頭桜さんらたくさんの部員が入学し活躍してくれました。

服部真夕さんが全国大会で優勝、国体では服部真夕さん、土岐香織さんで兵庫国体で優勝、土岐香織さん、島津想美さん、夫馬菜月さんで新潟国体で二回目の優勝をしました。

今年は男子八年連続、女子六年連続の全国大会出場と女子の団体優勝とぎふ清流国体の優勝を目指しています。



顧問 櫻井



顧問 水野

○23年度成績

- ・全国高校ゴルフ選手権 団体 男子22位 女子9位
個人 鬼頭桜 7位
- ・日本ジュニア選手権 3名出場 (川口・光田・鬼頭) 鬼頭桜 3位
- ・全国高等学校ゴルフ選手権春季大会 6名出場 (光田・水野・鬼頭・峠・田中・大西)
大西里沙 3位
- ・日本女子アマチュアゴルフ選手権 2名出場 (鬼頭・奥田) 鬼頭桜ベスト8
- ・山口国体出場 4名出場 (光田・鬼頭・副田・大西)
- ・女子ナショナルチーム 鬼頭桜 (クイーンシリキットカップ
個人6位・台湾アマ4位)

○過去の戦績

- ・全国高校ゴルフ選手権 団体戦出場
男子 (H10,12,13,14,15,17,18,19,20,21,22,23) 女子 (H15,16,19,21,22,23)
- ・全国高校ゴルフ選手権 個人戦出場
男女 (H10,12,13,14,15,16,17,18,19,20,21,22,23)
H14宅島美香 2位 H15宅島美香 10位 H16宅島美香 4位 服部真夕 7位
H17服部真夕 4位 H23鬼頭桜 7位
- ・全国高校ゴルフ選手権春季大会 個人戦出場
男女 (H3,8,10,11,12,13,14,15,16,17,18,19,20,21,23) ※22未開催
H16服部真夕優勝 H12三品貴泰 4位 H18山口量 4位 H23大西里沙 3位
- ・日本ジュニア選手権出場
男女 (H10,12,13,14,15,16,17,18,19,20,21,22,23)
H16宅島美香 4位 H17服部真夕 4位 H18土岐香織 4位 H19須田将太 8位
H23鬼頭桜 3位
- ・世界ジュニア選手権 H15宅島美香 7位
- ・女子プロトーナメント出場 H15,16,17,20,21,22,23
宅島美香 服部真夕 夫馬菜月 鬼頭桜
- ・国民体育大会 女子 H18優勝 H21優勝
- ・USA/ハワイ・ジャパンジュニアカップ日本代表
H20,21夫馬菜月 H21後藤悠斗 H23鬼頭桜

卒業生のプロゴルファー

三品貴泰 奥村圭介 宅島美香 服部真夕 土岐香織



ナショナルチーム
3年生を果たした
鬼頭桜さん

テニス部

更なる飛躍を目指して～テニス部～



顧問 酒向



顧問 森



顧問 荒山

美濃加茂高校ソフトテニス部が初めて全国の舞台に立ったのは、昭和59年に秋田県で開催された全国高校総体でした。初めての舞台、全国で勝つことの難しさを実感させられてからの32年間、これまでに全国高校総体男子21回、女子8回、東海高校総体男子31回、女子12回、全国高校選抜大会には男子が平成5年、女子が平成3年に1回ずつ出場しています。今のソフトテニス部があるのは、この歴代の選手たちが輝かしい歴史を築き上げてくれたお蔭だと感謝しております。現役選手たちはこの歴史に恥じぬよう、常に全国で活躍するという高いモチベーションをもって活動しています。

ところが近年の戦績をみると、平成17年の全国高校総体団体戦に出場し、初の全国大会団体戦で1回戦突破を果たしてから7年間、個人戦での出場はありますが、団体戦では全国の舞台を踏むこともできていません。歴代の諸先輩方に現在のソフトテニス部に求められているのは、男女ともに団体戦で全国大会に出場し、まだ果たすことのできていない2回戦を突破することだと強く感じています。

今後も選手・顧問が丸となり、結果を求める過程で忍耐力や感謝する心を育みながら、更なる飛躍を成し遂げていきます。

【過去3年間の戦績 (男子)】

平成24年度

- 東海高等学校総合体育大会ソフトテニス競技・団体戦 出場
- 東海高等学校総合体育大会個人戦 堀・大澤組 馬場・古田組 出場
- 岐阜県高等学校総合体育大会ソフトテニス競技・団体戦 準優勝

平成23年度

- 東海高等学校選抜室内大会・個人戦 堀・大澤組 出場
- 岐阜県高等学校新人大会・団体戦 第3位
- 岐阜県高等学校新人大会・個人戦 堀・大澤組 準優勝
- 岐阜県高等学校室内大会・団体戦 第3位
- 岐阜県高等学校室内大会・個人戦 堀・大澤組 第3位

平成22年度

- 全国高等学校総合体育大会個人戦 山田・平山組 出場
- 東海高等学校総合体育大会ソフトテニス競技・団体戦 出場
- 東海高等学校総合体育大会個人戦 山田・平山組 古川・河合組 田中・白川組 出場
- 岐阜県高等学校総合体育大会ソフトテニス競技・団体戦 準優勝



地域から信頼される 美濃加茂中学校



家族みんなが美濃加茂ファミリー



卒業生のお子さん 多数が在籍

美濃加茂中学高等学校の教育に信頼を寄せているご家族を紹介します。御嵩町に住む高木さんご一家です。高木浩明さんと祐美子さん兄妹が美濃加茂高校を卒業後、祐美子さんの2人の娘さんは美濃加茂中学に入学しました。

高木咲花：美濃加茂中学2年生
高木万葉：美濃加茂高校1年生
高木祐美子（母）美濃加茂高校S63年卒
高木浩明（叔父）美濃加茂高校S60年卒
→代々木ゼミナール講師
高木康允（祖父）後援会地区代表・DsTokai(株)名誉会長



保護者から信頼される中学校に

兄弟姉妹が 複数組在籍

ドリカムコースに絶大なる信頼を寄せているご家庭もあります。堀部家は4人の息子さんが、西田家は3人の娘さんが美濃加茂中学から入学しました。今後もますます皆さんに信頼される学校にと頑張ってまいります。



長男：堀部久嗣（1期生）明治大学→日本ヒューム(株)
次男：堀部彰伸（5期生）立命館大学（経済学部）
三男：堀部聡宏（7期生）美濃加茂高校3年生
四男：堀部秀将（11期生）美濃加茂中学2年生

長女：西田 真子（2期生）浜松医科大学（医学部）
次女：西田早百合（4期生）中部大学（健康科学部）
三女：西田かり（7期生）
美濃加茂高校3年生（生徒会長）



中学イベント

中学校イベントは、学校HP <http://www.minokamo.ed.jp>から申込が可能です。
ケータイ、スマートフォンからは、QRコードから簡単にアクセス可能です。



英語スピーチコンテスト

9月8日(土)
9:00～12:00
小学4年生～6年生

オープンスクール

10月13日(土)
9:00～12:30
学校説明会・デモ授業

オープン模試

10月27日(土)
9:00～12:00
国語・算数・理科・社会のテスト

I 期入試：12月15日(土)
II 期入試：1月12日(土)
III 期入試：2月16日(土)

高校イベント

第1回オープンスクール

10月13日(土)
部活動体験など

第2回オープンスクール

11月10日(土)
入試対策

推薦・一般奨学生試験

2月2日(土)

一般入試

2月16日(土)

編集後記

今回、和多田先生、櫻井先生、高橋先生から「歴史・伝統」を感じさせる重みのあるお言葉をいただきました。対談の中では、校舎にも触れていただき、学校の歴史が施設の拡充とともにあることも改めて分かりました。今回紹介できませんでした。歴史・伝統といえばもう一つ、制服はどうでしょう。思い起こせば20数年前の入学式、美濃加茂高等学校創立20周年を迎えるにあたり新たにデザインされた紺色のブレザーを着て登校しました。急に大人になったような…成長したような…気分になったことを思い出します。事務局 加納良祐（平成5年卒）
(現在は、創立40周年に向けて、男子は3代目、女子は4代目の制服に変わりました。)